

## [APNOTE01]

### 新規メール到着時にアラーム表示

---

ABS-9000 DeviceServer

APNOTE01 Rev A.1.0

2008/10/1



オールブルーシステム (All Blue System)

ウェブページ: [www.allbluesystem.com](http://www.allbluesystem.com)

コンタクト: [contact@allbluesystem.com](mailto:contact@allbluesystem.com)

## 1 イン트로ダクション

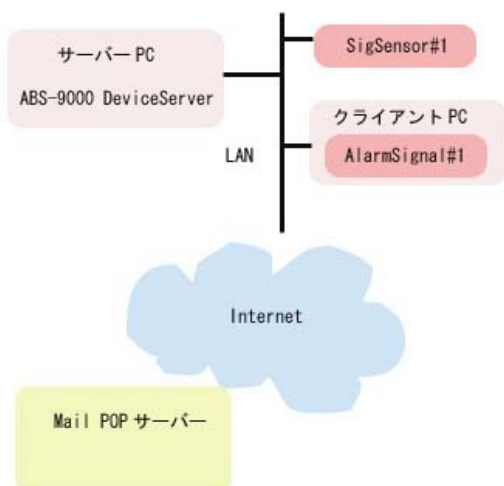
新規メール到着時に、SigSensor デバイスのランプとブザーで、ユーザーに通知するシステムを構築する例について説明します。

SigSensorをアラームシグナルに置き換えて設定したり、複数のアラームデバイスを設置することもできます。

## 2 必要な機材・リソース

必要なシステムやデバイス等	説明
ABS-9000 DeviceServerの動作しているPC	スタンダードライセンスもしくはエンハンスライセンスが必要になります。
SigSensorデバイス AlarmSignal.exe プログラム	ソフトウェアのアラームで十分な場合は SigSensor は必要ありません。その場合は、DeviceServer インストール時に設置されたアラームシグナルプログラム (AlarmSignal.exe) を使用します。クライアントPC を別に設置する場合は、AlarmSignal.exe プログラムをコピーして使用してください。
POP メールアカウント	メールを受信するPOPサーバーメールアカウント

## 3 システム構成図



## 4 システム動作概要

- DeviceServer は、Mail POP サーバーをアクセスして新規メールがあるかを、定期的にチェックします。

- 新規メールが見つかった場合は、MAIL\_NEW\_MAIL イベントが、DeviceServerで発生します。
- MAIL\_NEW\_MAILイベントハンドラで、メールが到着したことをユーザーに通知するために、“SigSensor#1”デバイスと“AlarmSignal#1”デバイスに対して、赤ランプ点滅を指示します。

## 5 設定手順

### 5.1 デバイス設定

SigSensor デバイスとアラームシグナルデバイスを LAN 上に設置します。

DeviceServer のアラーム管理プログラムで、設置したアラームデバイスをDeviceServer に登録します。このドキュメントではデバイス名“SigSensor#1”と“AlarmSignal#1”の2つのデバイスを登録したものとして説明してあります。

デバイス登録の方法と、クライアントPC へのアラームシグナルの設置方法については“DeviceServerユーザーマニュアル”を参照してください。また、SigSensor デバイスの詳しい使用方法については、“SigSensor\_NetUI0ユーザーマニュアル”を参照してください。

### 5.2 サーバー設定

サーバー設定プログラムで、下記の項目を設定します。

サーバー設定プログラム	
設定が必要な項目	設定内容
メール機能を有効にする	チェックを付ける
受信メールをチェックする	チェックを付ける
メール確認間隔	3分。(プロバイダのPOPサーバーの設定によって、メール確認間隔を調整してください)
新しいメール受信時にスクリプト実行	チェックを付ける
POPサーバー	プロバイダのPOPサーバーの設定に合わせて下さい
POPユーザー	プロバイダのPOPサーバーの設定に合わせて下さい
POPパスワード	プロバイダのPOPサーバーの設定に合わせて下さい
POPポート	プロバイダのPOPサーバーの設定に合わせて下さい

### 5.3 スクリプト・イベントハンドラ設定

MAIL\_NEW\_MAIL イベントハンドラ (MAIL\_NEW\_MAIL.luaファイル) を下記の様に記述します。

```
-----  
-- 新着メールをアラームに通知する  
-----
```

```
if not alarm_signal_set("SigSensor#1","BlinkingRed",true) then error() end
```

```
if not alarm_signal_set("AlarmSignal#1","BlinkingRed",true) then error() end
```

## 注意

スクリプト中に日本語を記述するときは、スクリプトファイルを UTF-8N 形式で保存してください。Shift\_JISや UTF-8 BOM付き形式などで保存すると、DeviceServer でエラーが発生します。Windows付属のワードパッドやメモ帳ではこの形式で保存できませんので、別途 UTF-8N 形式で保存可能なエディタソフト（\*1）を使用してください。

（\*1）TeraPad 等のソフトウェアがよく使用されています。

## 6 備考

アラームデバイスが SigSensor の場合は、alarm\_signal\_set() に加えて、alarm\_signal\_message() 関数をコールすることで、メールボックスのメール数を LCD に表示することも簡単にできます。下記のスクリプトを MAIL\_NEW\_MAIL に設定してください。

```
-----  
-- 新着メールの数を SigSensor デバイスの LCD に表示する  
-----  
stat = alarm_signal_message("SigSensor#1","** new mail ** mail box: " .. g_params["$MAILBOX$"])  
if not stat then error() end
```

## 7 このドキュメントについて

### 7.1 著作権および登録商標

Copyright© 2008 オールブルーシステム

このドキュメントの権利はすべてオールブルーシステムにあります。無断でこのドキュメントの一部を複製、もしくは再利用することを禁じます。

### 7.2 連絡先

オールブルーシステム (All Blue System)

ウェブページ <http://www.allbluesystem.com>

メール [contact@allbluesystem.com](mailto:contact@allbluesystem.com)

### 7.3 このドキュメントの使用について

このドキュメントは、ABS-9000 DeviceServer の一般的な使用方法と応用例について解説してあります。お客様の個別の問題について、このドキュメントに記載された内容を実際のシステムに利用するときには、ここに記載されている以外にも考慮する事柄がありますので、ご注意ください。特に安全性やセキュリティ、長期間にわたる運用を想定してシステムを構築する必要があります。

オールブルーシステムでは ABS-9000 DeviceServer の使用や、このドキュメントに記載された内容を使用することによって、お客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。ABS-9000 DeviceServer を使用したシステムを構築するときは、お客様の責任の下で、システムの構築と運用が行われるものとします。